

が如し。家族大會に於ける感傷的場面には、警察官其他面を掩ふ者尠からざりき。家族大會後講演會に移り、加藤勘十氏は「刃をはずして労働者を刺り殺しにするもの誰ぞ」と叫びて演說中止を命ぜらるゝや昂奮したる一同は警官と舞臺上に衝突し少紛争を惹起す。此時社會主義者高尾平兵衛、原澤竹之助、竹内一郎は次の如き宣傳ビラを盛に群集中に撒布し、高尾平兵衛は檢束せられたり。

### 足尾坑夫諸君！ (原文のまゝ)

足尾銅山の坑夫諸君！ 諸君は勇ましくも憤然として立つた。諸君は今や、常に諸君を踏みにじり、抑へつけ、叩きつけてゐる山主古河の城壘に對して、猛然突撃を試みんとしてゐる。

諸君がこの吸血漢に復讐を爲すべき秋は今である。徒らに紳士的行動を云々する者に耳を貸すこと勿れ。乞ふ者には何ものをも與へられない。乞ふ者には全部を與えらるゝこの言葉は我々労働者にとつて常に眞理である。我々は今やこの眞理を實行すべき秋である。資本家をして恐怖せしめよ。古河をして戦慄せしめよ。

見よ、イギリス炭坑夫同盟の同志は、遂に一大同盟罷業を執行した。こはやがてイギリスの社會革命の導火線たるやも計り難い形勢である。

諸君、斷じて躊躇するこゝ勿れ。勇敢なる諸君の行爲の前にのみ勝利は輝く。

四月十二日

足尾坑夫應援團

麻生久氏登壇するや漸く鎮靜したるが、午後三時半講演會を終り忽ち老若の女は或は子を負ひ、或は手をひきつゝ、隊をなし本山を下り、男鑛夫約百名を先頭に立て、到處に警官隊の沮止を破りつゝ、約

一里を進みて通洞に到り、鑛業所間近となるや悲痛なる喊聲を擧げ一氣に押し寄せん形勢ありしが、麻生氏初め幹部は一先つ之を慰撫して運動本部に入らしむ。一同は庭前に薙を敷き給されたる一個のパンに舌鼓を鳴らしつゝ、或は泣き或は語る、其間委員及附添人の選舉あり。

委員 渡邊とら 岩神さく 庄屋なみ 湯澤きさ 土井せい 柿崎うめ 佐竹せき 關はる 中島  
せい 藤原すえの 坂口うら 松岡みつ 附添人 佐竹秦藏 可兒義雄 橋本健三 關屋博 石山  
寅吉 石田某 島貫萬次郎 室山孝次

如上の人々通洞なる鑛業事務所に赴くや、途中憲兵及警官堵列して警戒物々敷ものあり、鑛業所にては「男誠首者には昨日會見したれば最早會見の要なし。たゞ附添人だけとすべし」として佐竹秦藏、島貫萬次郎、橋本健三の三名以外入室を禁じ、且婦人代表より立會を依頼されたる新聞記者をも峻拒したり。婦人代表に對しても杉本所長は昨日同様の言葉を以て考慮の餘地なきを語れるのみ、婦人代表は眼を泣き腫らして引取り、本部に於て逐一報告し語るもの聞くものともに泣けり。婦人代表上京問題は此時決したるなり。

### ▽在郷軍人に訓諭

十三日宇都宮聯隊區司令部付池端歩兵中佐は、在郷軍人中班長以上を町役場樓上に集めたり。中佐は十二日來足せるが來足の理由は在郷軍人が軍人會の提灯を翳し、在郷軍人章を胸に付して示威行列に参加し、革命歌を高唱せるに驚きたるためなるが如し。足尾の在郷軍人の